



しっかりと受け継がれていきます

教務主任 小川 崇紀

まだまだ寒い日が続いていますが、子どもたちは、真冬の寒さに負けず、冷たい風に頬や鼻を赤らめながら、元気に校庭を走り回ったり、新しくなった遊具で遊んだりしています。また、今年もじゃぶじゃぶ池の水が凍り、嬉しそうに足でつついたり、薄氷を取り出したりして遊んでいる子もいます。寒い日が続くと氷も厚くなりますが、勇気を出し氷の上に乗って見たものの氷が割れて池で靴や足が濡れてしまうのもこの時期です。

さて、本校の異学年交流の柱となる「なかマイ活動」ですが、今年度からは、6月に異学年で縄跳びを楽しむ「なかマイジャンプ」や、11月に地域や校内のごみ拾いをする「なかマイそうじ」を始めました。学校だより4月号でお伝えしました、今年度の舞岡小キーワード『一步前へ!』のもと、より子どもたちが健やかに成長し、より魅力ある学校にしていくために更に前進し、計画・実践されたものです。これまでの様々な活動を通して学年・学級をこえた仲間とのふれあいや、相手を思いやる心の育成に取り組んできましたが、残すところなかマイ活動も、3月の「お別れなかよしマイ活動」とそれに向けた準備のみとなりました。先月のなかマイ活動からは、これまでなかマイ活動を企画し、下級生を思いやりながら運営してきた6年生に代わり、5年生が活動を企画・運営しました。その中でうれしい出来事があったので紹介させていただきます。

5年生は、6年生からなかマイリーダーを受け継いだ当初「もうすぐ6年生かぁ・・・。」「あんなふうにはできるかなぁ・・・。」と、とても不安そうにしていました。しかし、同じなかマイ班の5年生で集まり、これまでの6年生の姿を手本に思い出しながら下級生の誰もが楽しめるよう活動を考えようとするうちに、これからは自分たち5年生が舞小をリードしていく意欲をもち始め、「いつもこんなに考えて、準備してくれていたことがやっと分かった。」と、これまでの6年生の努力に気づくこともできました。こうして最高学年としての意識と責任感がしっかりと受け継がれていく子どもたちの姿に嬉しくなりました。



また、最後に6年生がリードしたなかマイ活動では、6年生から下級生に「これからは5年生がなかマイをリードしていくので、5年生がんばってください。1年生から4年生も、5年生を支えてね。」と話してくれました。そして後日、6年生が「先生、1年間ありがとうございました。」と担当している教室に折り紙のプレゼントを渡しに来くれました。その表情はとても清々しく、達成感にあふれた笑顔でした。この他にも、本校ホームページ「舞小トピックス」には、1年生の幼保小交流など思いやり溢れる児童の様子を載せていますので、是非ご覧ください。



今年度の学校登校日も40日をきり、どの学年も1年間のまとめに入ります。1日1日を大切にしながら過ごしていきたいと思います。今月も変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。